



YELL

エール
第24号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp
Vol.24 平成25年 6月

地域人材の活用について

清流に若鮎が踊り、緑が目にまぶしい季節となりました。先生方におかれましては、益々御活躍のことと思います。

さて、今号は、地域人材の活用について取り上げていきたいと思ひます。

すでに各学校では、授業や学校行事などで地域の人材を活用し、教員では教えることができない専門的な内容を教えていただいたり、地域との信頼関係を深めたりしていることと思ひます。この地域人材の活用を計画的・継続的に進めていくためには、どんなことに気をつけていけばよいのでしょうか。順を追って紹介していきます。

1 年間を見直し、地域人材が必要な授業や学校行事などを洗い出してみましょう。

各教科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動、学校行事などで、地域人材の協力が必要なものを洗い出してみましょう。昨年度と同様というのではなく、本当に必要なもの、地域人材を入れることで効果が上がるものなど、新しい視点でもう一度見直してみることが大切です。

2 洗い出したものをもとに、必要な地域人材の募集をしましょう。

今まで協力していただいている方はもちろんですが、新しい人材の発掘も大切です。(協力者の輪を広げる、協力者の世代交代を進めるといった意味でも)

募集方法は様々ですが、保護者を対象とするだけでなく、地域の回覧などを利用して、地域住民に投げかけてみることもお薦めです。そう

することにより、学校での学習について理解していただく機会にもなります。

回覧だけでは、なかなか新しい人材を確保することは難しいかもしれませんが、自治会長さんやすでに外部講師をされている方から情報をいただき、直接声をかけるのも有効だと思います。

3 地域人材活用の年間計画を作成しましょう。

協力いただける人材が集まったら、連絡先などを明記した年間計画を作成します。(平成23年度那須地区教育の概要 P116参照)

年間計画の内容は、各学年の教科単元一覧や行事一覧に反映させると、より活用しやすいでしょう。

4 活用したら、簡単な記録を付けましょう。

実施内容や気がついたことなど、次年度につながるようなものを簡単に記録し、係が集めておくとよいでしょう。(できれば、内容を記入しやすいように、簡単な記録用紙を印刷し準備しておくともよいかもしれません。)

これらの記録をもとに次年度への計画を立てていくと、より充実した地域人材の活用につながるでしょう。

地域人材の活用について、いくつか注意点を挙げてみました。これは、ほんの一例に過ぎません。各学校の実態に合わせて、地域人材の活用を進めてみてください。年を重ねるごとに、充実した地域人材の活用が実施されることを期待します。



県立図書館リニューアル

昨年度末に栃木県立図書館が、リニューアルオープンしたのを御存じですか。県立図書館ではリニューアルオープンに合わせてこれまで3階にあった「郷土資料コーナー」を「地域資料室」に再編。元プロ野球選手の石井啄朗さんやタレントのガッツ石松さんなど栃木県ゆかりの著名人の本やこれまで書庫で保管され、あまり目に触れることのなかった地域の歴史や民俗に関する本など、様々な資料を読むことができるようになりました。また、マイクロフィルム・コーナーでは、明治期から現在にかけて発行された新聞を読むこともできます。総合的な学習の時間や社会の時間で、資料に困ったら、県立図書館を利用してみてはいかがでしょうか。

那須地区ふれあい人権の集い
(那須地区人権教育指導者一般研修)
日時：平成25年6月22日(土)
場所：那須塩原市黒磯文化会館(大ホール)
内容：第1部 作文発表
第2部 講演
「あきらめない心、そして、夢」
講師 ロンドンパラリンピック出場
シッティングバレーボール選手
金田 典子 氏
ぜひ、御参加ください。